

令和7年度 事務事業マネジメントシート

1 事業概要			段階： 令和6年度実施事業に係る事務事業評価					6447 医療従事者支援事業					保健福祉部	保健所健康政策課
			中事業番号		1758								所属コード	215300
政策体系			SDGs	広域事業	総合戦略	セーフ	2025	2030	2040	2050	D X推進	手段	意図(目的)	
大綱(取組)	Ⅳ 「誰もが地域で輝く未来」		1.3 3.8 8.5 10.2		5-3		○					新規就労看護職をはじめとした医療従事者の多様な働き方を支援するために、保健・看護専門学校等、育成機関からの実習の受入を行うとともに、市保健事業へ協力する人材バンク“登録看護職制度事業”を行う。	医療従事者が希望する雇用形態で就業ができる環境を整備する。	
施策	4 誰もが健康で生きいきと暮らせるまち													

事業開始時周辺環境（背景）		現状周辺環境	今後周辺環境（予測）	住民意向分析
「地域包括ケアシステム」の構築、「医療介護総合確保推進法」の施行、産科医師不足による分娩取扱医療機関の減少、新興感染症など、市民を取り巻く医療、介護の環境が変化し、看護職をはじめとした医療従事職の需要も多岐にわたっている。		2016年12月に「福島県地域医療構想」が策定され、医療機関の病床ニーズの内容に応じて機能分化することになった。さらに、新介護保険施設（介護医療院）の創設など、医療介護をとりまく社会情勢が変化しており、看護職をはじめとした医療従事職を必要とする職場は増加している。	2025年には、現在の団塊の世代が後期高齢者となり、介護の現場をはじめとして医療従事者が果たす社会的役割がより高まることが予想される。また、「地域包括ケアシステム」における在宅医療・介護の実現のためには、看護職をはじめとした医療従事職は今後益々重要な役割を担うと期待されている。	医療機関、特に病院においての看護師の確保は喫緊の課題となっている。また、2024年度版の市民意見リーダーでは、満足度の2位、これから重点的に取り組んでほしい分野の7位に「医療」が挙げられ、住民の関心が非常に高い状況になっている。さらに、これから重点的に取り組んで欲しい分野の3位には、「高齢者福祉」が挙げられることから、質の高い医療の提供とそれを支える医療従事者の継続的確保が重要となっている。

2 事業進捗等（指標等推移）			まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針六次実施計画		まちづくり基本指針七次実施計画		まちづくり基本指針八次実施計画		次期実施計画		次期実施計画		まちづくり基本指針	
			2022年度（令和4年度）		2023年度（令和5年度）		2024年度（令和6年度）		2025年度（令和7年度）		2026年度（令和8年度）		2027年度		中間指標	最終指標
指標名			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	2021年度	2025年度
対象指標	看護職就労者数（市内）	人		4,920		4,920		4,942		4,942						
活動指標①	保健・看護学生等実習受入支援	人	50	80	50	58	50	56	50	50	50		50			
活動指標②	郡山市保健事業就労参加依頼延べ人数	人	120	132	120	134	120	119	120	120	120		120			
活動指標③	看護職就労に係る事業周知及び就労支援に係る医療機関訪問	件	15	3	15	16	15	21	15	15	15		15			
成果指標①	郡山市保健事業登録看護職数	人	60	69	60	59	60	59	60	59	60		60		60	60
成果指標②	郡山市保健事業登録看護職からの就業者数	人	2	6	2	6	2	1	2	2	2		2		2	2
成果指標③																
単位コスト（総コストから算出）	郡山市保健事業登録看護職1名あたりのコスト	千円		90		102		113	108	108	108		108			
単位コスト（所要一般財源から算出）	郡山市保健事業登録看護職1名あたりのコスト	千円		90		102		113	102	102	102		102			
事業費		千円		419		359		360	2,000	2,000	2,000		2,000			
人件費		千円		5,806		6,050		6,333	4,500	4,500	4,500		4,500			
歳出計（総事業費）		千円		6,225		6,409		6,693	6,500	6,500	6,500		6,500	0		
国・県支出金		千円		0		0		0								
市債		千円		0		0		0								
受益者負担金（使用料、負担金等）		千円		0		0		0								
その他		千円		0		0		0	400	400	400		400			
一般財源等		千円		6,225		6,409		6,693	6,100	6,100	6,100		6,100	0		
歳入計		千円		6,225		6,409		6,693	6,500	6,500	6,500		6,500	0		
実計区分			評価結果	継続	継続	継続	継続	継続	拡充							

活動指標分析結果		成果指標分析結果	総事業費（事業費・人件費）分析結果
保健・看護学生等実習受入については、計画値では50人と設定していたが、例年、実習を受け入れている看護専門学校の学生数が、令和6年度は若干多かったことから計画値を上回った。 また、保健事業就労参加依頼の延べ人数については、職種によっては複数の事業に就労参加したこともあり、ほぼ計画値通りとなった。 看護就労に係る事業周知については、「助産師修学資金貸与支援事業」等について16施設に周知を図るとともに、ポラリス保健看護学院の潜在看護師の復職に繋げるための交流会を本市の共催事業として事業周知し、実施したこともあり、計画値を上回った。		「看護職等登録制度」の登録者数については、職種によっては既に定員を満たしていることもあり、積極的かつ緊急的に募集することはなかったものの、前年度に引き続き、ほぼ目標値に近い登録者数となった。 また、就業者数については、当該事業に登録していた看護師が、市内の医療機関に復職を希望するまでに至らなかったことから、計画値を下回った。	【事業費】助産師修学資金貸与支援事業に係る需用費や郵便料、保険料等の当該事業費については、昨年度と同じ規模を見込んでいたが、結果的にほぼ計画値通りとなった。 【人件費】コロナ禍前の通常業務となり、前年度より業務量が増えた影響により人件費が増加した。

3 一次評価（部局内評価）

(1) 事業手法評価		
1 規模・方法の妥当性	3	
2 公平性	4	
3 効率性	4	
4 活動指標（活動達成度）	4	
5 成果指標（目的達成度）	4	

(2) 事業継続性評価		
代替事業（有）		
ニーズ（小）		ニーズ（大）

継続	一次評価コメント
医療従事者の人材の育成を図るため、保健・看護学生等実習受入れを継続して行う。 また、助産師修学資金貸与支援事業については、周知を図っているものの、助産師の成りて不足ということもあり、応募がない状況が続いていることから、さらに広く周知を図りながら、多様な働き方や専門性の高い人材を確保する点からも継続して実施する。 登録看護職事業については、本市事業での看護師をはじめとした医療従事者の確保だけではなく、医療従事者の再就業支援として、引き続き復職の後押しに繋げていく。	

5レシ	カウンターレス	キャッシュレス	ペーパーレス	ファイルレス	ムーブレス（会議レス）

気候変動対応	D X（デジタル市役所）	部局間協奏

4 二次評価

(1) 事業手法評価		
1 規模・方法の妥当性	3	
2 公平性	3	
3 効率性	3	
4 活動指標（活動達成度）	4	
5 成果指標（目的達成度）	3	

(2) 事業継続性評価		
代替事業（有）		
ニーズ（小）		ニーズ（大）
代替事業（無）		

継続	二次評価コメント
令和6年度においては、保健・看護学生等実習の受入を計画値以上に実施した。看護就労に係る事業周知は、助産師修学資金貸与支援事業等について16施設で行うとともに、潜在看護師の復職に繋げるための交流会をポラリス保健看護学院との共催事業として実施して周知を行ったことで、計画値を上回った。 保健事業に登録することによって市から登録者へ求人情報等を提供し、離職していた看護師が復職するなど、医療従事者確保に寄与していることから、今後も継続して事業を実施する。 なお、助産師修学資金貸与支援事業は令和4年度以降実績がなく、また郡山市保健事業登録看護師からの就業者数が令和6年度は1名であったことから、資金貸与事業の周知方法の更なる検討を行うとともに、登録看護師の市内医療機関への復職を促進するよう、当該事業の活用推進に努める必要がある。	

(参考) 令和6年度カイゼンのための行動計画	